

授業科目	保育内容 表現				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21620J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP5-2			
担当教員	金谷 めぐみ							
授業概要	実務家教員として、保育園で表現活動を実践している内容と経験を踏まえ、授業では音楽を用いた身体活動および造形活動のワークショップを行い、学生が自ら表現する感覚を味わうことのできるアクティブラーニングを実施する。また、乳幼児の「表現」について解説すると共に、他の「領域」との関連から見た「表現」について解説する。保育者の「表現」に係わる知識・技能の習得のための演習を行い、乳幼児の「表現」を導くための知識・技能について指導案を作成し、発表を行う。							
学生が達成すべき行動目標	子どもの表現に関する今日の状況について関心をもつ(DP2-1, DP3-2) 表現に関する保育の展開を考え、指導案を作成することができる(DP1-2, DP5-2)							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	40	20	40	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		40	10	10			60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10	10			20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)				10			10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				10			10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
・子どもの表現に関する今日の状況について、各種資料を収集・整理し他者に説明できる ・音楽基礎知識を身体および造形の表現活動の実践にと入り、実施することができる 表現に関する環境を通した保育の展開ができることはもちろん、自らの保育の課題を分析し、進んで向上させようとする				・子どもの表現に関する今日の状況について、各種資料を収集している ・音楽基礎知識を身体および造形の表現活動の実施に取り入れている ・表現に関する環境を通した保育の展開ができ、自らの保育の課題を挙げる事ができる				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション 授業の進行方法・評価方法について説明する	講義	予:保育所保育指針の関連部分を読む	60
2	領域「表現」 5領域の中での「表現」の位置づけについて解説する	講義	予:保育所保育指針の関連部分の確認 復:課題を提示する	30
3	乳幼児の表現 1 乳幼児の表現について解説し、表現を引き出す方法について検討させる	課題の確認 講義 グループワーク	復:課題を提示する	30
4	乳幼児の表現 2 乳幼児の表現を引き出すための、保育者としての表現の重要性について解説する	課題の確認 講義 グループワーク	復:自身の表現技法について振り返り、スキルアップのための練習をする	30
5	保育計画の立案 1 保育計画立案のために必要な基礎的知識について解説する	講義	復:乳幼児の発達について復習しておく	60
6	保育計画の立案 2 部分保育指導案の作成方法を解説する	演習	自身が行う模擬保育の指導案を作成する	90
7	模擬保育 1 作成した指導案を基に、環境を通した保育の展開を模擬的に経験する	演習	予:自身の模擬保育の準備 復:自身の模擬保育についての反省と課題の分析	120(自身の模擬保育に関して)
8	模擬保育 2 作成した指導案を基に、グループごとに環境を通した保育の展開を模擬的に経験する	演習	予:自身の模擬保育の準備 復:自身の模擬保育についての反省と課題の分析	120(自身の模擬保育に関して)
9	模擬保育 3 作成した指導案を基に、グループごとに環境を通した保育の展開を模擬的に経験する	演習	予:自身の模擬保育の準備 復:自身の模擬保育についての反省と課題の分析	120(自身の模擬保育に関して)
10	幼児の身体的表現① 幼児の身体的表現を中心とする表現活動について解説する。	演習	予:プレゼンテーションの準備 復:身体表現の課題練習	60(自身の発表に関して)
11	幼児の身体的表現② 幼児の身体的表現に関するプレゼンテーションを行う	演習	復:自身のプレゼンテーションの反省と課題の分析	60(自身の発表に関して)
12	幼児の音楽的表現① 幼児の音楽的表現を中心とする表現活動について解説する	演習	予:プレゼンテーションの準備 復:音楽表現の課題練習	60(自身の発表に関して)
13	幼児の音楽的表現② 幼児の音楽的表現に関するプレゼンテーションを行う	演習	復:自身のプレゼンテーションの反省と課題の分析	60(自身の発表に関して)
14	幼児の造形的表現 幼児の造形的表現を中心とする表現活動について解説する	演習	予:これまでの授業内容を振り返りをする 復:造形表現の課題練習	60(自身の発表に関して)
15	振り返りとまとめ	講義	レポート課題	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能				
<ul style="list-style-type: none"> ・自身の表現の幅を広げるために、日常生活の中であらゆるもの興味・関心を持って関わるよう努めること ・ピアノ演奏法の技術の習得に励むこと ・保育所保育指針の「表現」に関する項目を熟読し、子どもの発達の特徴を理解すること 				
テキスト				
<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しくうたあそび 123」川北邦子/坂本久美子 編著 ミネルヴァ書房 ・「ピアノテキスト」全国大学音楽教育学会 九州地区学会編 カワイ出版 ・「保育所保育指針」 				
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介				
<ul style="list-style-type: none"> ・「体を楽器にした音楽表現リズム&ゲームにどっぷり！りとみつく 77 選 神原雅之著 明治図書 ・「こころとからだを育む1-5歳のたのしいリズム」神原雅之著 ナツメ社 				
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> ・常に「考える」ことを重視し授業を展開するので、自身の考えを持つこと、その考えを他者に客観的に説明することを習慣化しておくこと ・自身の体験で得た感覚を言語化できるように習慣化しておくこと 				
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法				
<p>達成度評価の配点について</p> <p>小テスト(40) - 子どもの音楽的表現を引き出すための保育者としての基礎知識</p> <p>発表・指導案(40) - 子どもの年齢および発達を考慮した表現活動について指導案を作成し、発表する</p> <p>レポート(20) - 講義のまとめレポート(本講義で学んだこと、今後の自己課題を分析し、レポートにまとめる)</p>				

